

Coordinator Training College

# COTOLLEGE

コーディネーター養成講座  
コトレッジ

## 第3回



### テーマ自己紹介

今回はテーブル内での自己紹介から始まりました。テーマは、「自分を動物に例えると?」、「チャームポイントは?」、「ギャップポイントは?」等いつもの自己紹介とはちょっと異なったものでした。コーディネーターは自己紹介をする頻度が高く、自分のことを相手に覚えてもらうためにも、意外な点や人とは違った視点で自己紹介すると、ぐっと身近に感じてもらうことができます。

### ヒアリングの共有とフィードバック

宿題として自分の周りで活動している団体や個人にヒアリングした結果を、テーブル内で共有しました。その後、代表して2人の参加者に全員の前でヒアリング結果を共有してもらいました。団体さんへのヒアリングから、これまで会議室で開催していたイベントを屋外のオープンスペースでやってみたいという話に発展したこと、ヒアリングした相手から逆に今後企画している講演会を依頼された等、ヒアリングの機会を使って次の展開につながられたのが良かった点でした。



### 日時

2022.8.6 (Sat)

14:00~17:00

### 会場

茨木市役所南館10階大会議室

### 参加者数

28人

### プログラム

- 1 はじめに
- 2 テーマ自己紹介
- 3 宿題の共有:ヒアリングの結果を紹介し合おう!
- 4 ヒアリングのフィードバック
- 5 レクチャー:茨木市の市民活動のコンセプト
- 6 ワーク①:コンセプトについて考えよう!
- 7 ワーク②:コンセプトを実現するためにできることを考えよう!
- 8 全体共有
- 9 おわりに

## 茨木市の市民活動のコンセプト

「楽しい活動が誰かの人生を豊かにする」というコンセプトは、昨年度開催された市民活動センターの機能や役割を考えるワークショップ「いばらきひらこか」から生まれました。参加者が講座や視察、実際に活動をしてみて得た学びや気づきを“ひらこか手帳”に書き込み、その一つ一つの言葉をつないでできたものです。まずは、自分自身が楽しんで活動することによって、市民活動に参加する人も、活動する人も人生が楽しく充実したものになるようにという想いが込められています。また、楽しく活動するためには、うごく（小さくやってみる等）、ひらく（他の活動と一緒にやってみる、誰かの活動に参加する等）、まなびあう（誰かと一緒にお互いに学び合う等）が大切であり、このコンセプトをもとに市民活動センターが活動をサポートします。



茨木市の市民活動のコンセプトシート

## 茨木市の市民活動のコンセプトについて考えよう

以下の流れで意見交換をしました。

- 1 市民活動のコンセプトを実現するために、茨木市の市民活動がどうなったらいいかを具体的に話し合う
- 2 出てきた意見を見ながら、各テーブルにテーマを割り振る
- 3 ヒアリングしてきた中から、コーディネートする主体を選び、シートを模造紙に貼る
- 4 ②のテーマを実現するために、どのような活動を展開すればよいか、プログラム企画やコラボレーションアイデアを考える



1 コンセプトを実現するために参加のハードルが低いと出会いがたくさん生まれる/いろんな出会いの中から、自分の役割を見つけたりできる/参加しやすい費用、年齢関係なく参加できることが大切/市民活動をやってみたい人向けに相談会、見学会、体験会などがあつたらよい/コンセプトをいろんな人に知ってもらうことで行動につながる/仲間やつながりができて実現に近づくことができる/やってみてよかったにつながつたらよい/活動をひらく、ひろげることが公共性において大切

### 2 各テーブルのテーマ

- 1: 多世代の仲間や参加者を増やすには?
- 2: 市民活動の主体を増やすには?
- 3: 気軽に参加できる活動にするには?
- 4: さらに良い活動をするために、どんなチャレンジができるか?
- 5: 楽しく、かつ公共性がある活動にするには?

### 3 4 テーマを実現するためにどのような活動を展開すればよいか

テーブル	対象にした団体	コーディネートの内容
1	食育に関する活動をしている団体	畑を使って大豆を作ってお味噌を作ろうという話が出た。おばあちゃんのお話を借りながら地域の子どもの食育ができればいいのでは。
2	D.I.Y.の活動をしている女性たちの団体	D.I.Y.がよくわからない人や高齢者でも参加しやすいような場をつくれたらいいのでは。
3	不登校児支援の活動をしている団体	不登校児が気軽に安心していける場所で活動してみるのがよさそう。例えば「おにクル」はぴったりだと思う。いつでも開いていることが理想なのでは。
4	子育て支援の活動をしている団体	中高生に向けて、家以外の居場所の提供をする。中高生が参加できるイベント、子育ての機会への参加ができるような学びにつなげられるのでは。
5	エシカルな活動を推進している団体	知名度のある団体とのコラボや、市役所や小学校などの公共団体とコラボすることで公共性が確保できるのでは。

## 講評

1回目のゲストの藤山さんから、市民活動のコーディネートでは、活動が地域の課題解決につながるような「支援改善」、団体同士が連携するような「連携協力」、活動に新たな視点を取り入れる「創造挑戦」の3つの視点で日々の活動がよりよくなるように支援していると紹介いただきました。



立川市子ども未来センター 藤山さん